



ニュース



月号

発行日：2019年12月29日
発行者：カトリック横須賀三笠教会
TEL：046-823-0042
FAX：046-823-1031
e-mail：mikasa-news@cap.ocn.ne.jp

星塚寺院の除夜の鐘つきに参加して

三笠教会 主任司祭 浜崎眞実

今年の年越しはハンセン病療養所の星塚敬愛園においてでした。そこで福岡事件で死刑にされた西武雄さんが寄贈した梵鐘をついてきました。死刑囚もハンセン病者もどちらも社会の規範から外れた存在と見なされ、国家に都合が悪い者として終生隔離と亡き者とされてきました。私たちの社会から排除された者同士の交流のみのりである梵鐘を除夜の鐘としてつくるのも、意義深いことです。星塚寺院を建てた山中五郎さんはどのようにして西武雄さんとつながったのでしょうか。年の「境界」をハンセン病療養所で過ごすのも「干渉＝神の国(人間による人間の支配を批判する原理)」を生きることかと思えます。一昨年は7月にオウム真理教関係の死刑囚13人に対して立て続けに刑が執行されました。その後、12月27日にも2人。そういう年に星塚寺院の除夜の鐘つきが復活し、命の尊厳について思い巡らすときとなりました。昨年は「すべてのいのちを守る (Protect all life)」を掲げて教皇フランシスコが来日しました。その年の12月26日に一人の死刑囚が刑を執行されました。

星塚寺院について、10年位前から林力さんがその存続を力説されていました。仏教徒でない私には、今一つピンとこないままでした。その後、キリスト者でハンセン病国賠訴訟の第一次原告の玉城しげさんが亡くなりました。そのユニークな信仰のあり方の背景に星塚寺院と山中五郎さんとの交流があることに上野政行さんを通して気づかされました。そのことから星塚寺院への見方も変わりました。さらに死刑囚との交流からできた梵鐘がいかに貴重で、声なき声の象徴的でもあることもようやく理解できるようになりました。

福岡事件については福岡の神学校在学時代の1988年頃には情報としては知っていました。古川泰龍さんの著書を読んでいたからです。その時も、死刑囚の人を助けようとし

ている偉いお坊さんがいるというくらいで、西武雄さんには関心が向かいませんでした。ハンセン病問題でも1991年から95年まで神山復生病院を訪問していながら、岩下壮一神父や誤診で入り看護師としてそこで一生を過ごした方に感動し、その足跡を追いかけていたのと同じです。これでは国策を見抜けないし、国に都合の悪い人は隔離されたり死刑になっても仕方ないという考えに陥ります。立ち位置、視座の問題が大きいと改めて確認した次第です。社会のマイノリティの側に身体を運び、そこでの声や叫びを聞いて更には抑圧と差別の構造を見抜くところまでいかないと、体制側に絡め取られてしまいそこから解放されることにはつながらないでしょう。洗礼を受けてイエスについていくとは、

西武雄さんの獄中句：「叫びたし 寒満月の われるほど」

12月の教会委員会

12月1日（日）に開催された教会委員会の報告です。

1 12月及び2020年1月の行事を確認しました。

2 報告・確認・連絡事項

(1) 典礼

- ① 12月24日（火）のクリスマスキャロルにフィリピンコミュニティが参加
- ② 12月24日（火）夜半のミサ第2朗読は英語

(2) 教会学校

- ① 12月15日（日）クリスマス会を実施

(3) 中高生会

- ① 青少年の育成と子供が来る教会とするために、教会の日曜日のあり方をそのものを見直す必要がある。ミサに子供たちが参加できるように、オルガンを弾く、歌を歌う、説教をドラマ化するなど子供たちの出番、典礼での役割を作る。

(4) 共同宣教司牧

【信仰を伝える力を育てる部門】

- ① 信仰の柱はミサに出て聖書を読むこと。中学生から自分の聖書を持って、それを縦横無尽に読めるようになるまで目指す取り組みが基本。

【神の愛を証しする力部門】

- ① ギャンブル依存問題の勉強会をGAYA作業所の島田所長に依頼を検討中。

(5) 総務

【施設管理：営繕】

- ① 聖堂屋根の補修：木村板金(株)により実施(12月10日完了)
- ② 合葬墓：承認手続きを進めており、4月以降に施工予定。

【その他】

- ① 総務を増員してとの提案に増員せずに全員で協力して行事を行なうことにします。
- (6) 横浜教区一粒会
- ① 委員の改選：現委員(小畑、宮本)の継続を承認

3 協議事項

- (1) 新年度の教会委員
- ① 委員長、副委員長、委員の交代について検討しました。
- (2) マッカーティン神父様の環境問題の学習会を3月頃に予定しています。
- (3) 行事・パーティ担当表に男性の参加を呼び掛ける文章を追加しました。

4 その他

- ① 七五三の反省：行事は事前に典礼と打ち合わせを行うこと。
- ② 神父様のお誕生日(12月18日)に持ち寄りパーティを実施。
- ③ フィリピンコミュニティのクリスマス会(12月21日)
- ④ 「みかさニュース」は編集会議が必要。
- ⑤ 教会委員会報告会は2月末日に開催予定です。

次回教会委員会は、2020年1月5日(日) 11:30 からです。

教会学校

村上 富美代

12月

今月はクリスマス会を行いました。
クリスマス会の前に待降節第1～3主日についてのプリントを読んで、ビデオを見ました。

- * “ベツレヘム”の意味は？
- * 三人の博士達が持ってきた物は？
- * 持ってきた物の意味は？ などの話をしました。

その後、クリスマス会。いつもとちよつと違う昼食とお菓子を皆で食べ、ビンゴ大会をしました。今年のラッキーセブン賞は、「勉強してね!!」セット(文房具いろいろ)でした。

今月の参加人数は、小学生9名、中学生1名でした。
小学生はもちろん、中高生ももっと参加して欲しいです。



「げんきかい」 例会報告

あべ としみつ
阿部 寿満



12月の定例会(懇親会)を12月21日(土)午後1時から
お店を利用して実施しました。

当日は予報に反し薄曇りで肌寒く、またクリスマス前の多忙な
時間にかかわらず13名の方が参加されました。

参加されたのは通常の例会の参加者と大体同じメンバーです
が、「今日だけは何は置いても出席しますよ」と嬉しいことを言わ
れ、懇親会を以っての繋がりを改めて感じさせられました。

現役生活から離れ、また年齢と共に教会の活動や行事からも遠
のきつつある今日、多岐にわたる会話の中から情報を共有できたことは有意義な一時
であったかと思えます。

特に高齢者の運転問題が取り上げられ、免許証を返還された方からは返還時期や運転
時の注意などが熱く語られていました。

令和に改元され様々の出来事がありましたが、教会に、また個人にと
りましても教皇様の来日は大きな喜びとお恵みであり、教会に活力
を与えてくださった一年だったと思えます。

健康に恵まれ、今日の日を共に楽しむことが出来たこと、そして恵み
豊かな新年を迎えることが出来るように祈念し、セッティングの労を
とられた永井さんに感謝し、拍手を以って帰路につきました。

※ 来年の例会は、3月21日(土)を予定しています。



カトリック新聞

カトリック新聞係

1月は、カトリック新聞の購読更新月です。
1月5日(日)～1月26日(日)の主日ミサ前後に次の手続きの受付を致します。

◎購読料の払込み ◎新規購読の申込み ◎購読の中止

なお、今回から購読料が6ヶ月分で4,968円となりましたので了知願います。

マザーテレサ会

1月 9日(木) 例会10:00教会
10日(金) SOMPO ケア・ラヴィーレ
14日(火) 花ことば
16日(木) 塚山ホーム
20日(月) 横須賀老人ホーム

22日(水) 佐藤さん宅
24日(金) 衣笠ホーム
27日(月) 上郷湘南グリーン
29日(水) ゆりの花
30日(木) 住まいるクラス久里浜

しゅげい かい 手芸の会



1月と2月の手芸の会は、お休みします。

バザー後に、ミニバザーを行いましたら、20,000円の売上がありましたので、教会に寄付しました。皆さまご協力ありがとうございました。

ミモザ

スタッフ代表

1月～2月はお休み致します。

バスツアー精算報告

みやもと きよみ
宮本 清美

11月25日の教皇様来日ミサに参加された皆さまからバスツアーの代金としてお一人5,300円頂きました。差額残金から振込料を引きまして6,160円が残りしました。会場には献金箱がありませんでしたので三笠教会への献金とさせて頂きました。遅くなりましたがご報告いたします。

へんしゅうこうき 編集後記

みかさニュース編集担当

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。去年11月に三笠教会に来てくださったポール・マッカーティン神父様の環境問題のお話は本当に深刻でした。この星はどうなってしまうのだらうと思います。むずかしいことはわからないし、自分のこともままならないのですが、こうしている間にも北極の氷が溶けていき、海にプラごみが流れていくと思うと、いたたまれません。いただいた冊子「私に何ができるか」を読んで自分ができるとやっぺいこうと思います。今、無事にいられることに感謝します。今年も感謝と共々暮らすことができますようにお祈り申し上げます。

みかさニュースは、11月号からルビ付きの文章にしています。外国人の方にもわかりやすいよう読みやすいようにと始めました。行事予定も英語、日本語でできればと考えています。皆さまのご感想はいかかでしょうか。沢山のご意見、ご感想、ご要望そして投稿など、いただけるとうれしいです。

そしてみかさニュース編集に携わってくださる方がいらっしやいましたら、どうぞご参加ください。



「教皇への献金」のお願い

日本カトリック司教協議会は、教皇フランシスコの来日にあたり、教皇への献金をお願いしております。

皆さまからいただく献金はすべて、来日テーマである「すべてのいのちを守るため ～PROTECT ALL LIFE～」を具現化する活動のために、教皇にお使いいただくためのものです。皆さまのあたたかいご協力を、よろしくお願い申し上げます。

お振込先

原則として、現金では受け付けず、本口座情報をご案内します。

※本献金は、寄付金控除を受けることができません。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。

※お振込期限 2020年1月31日まで

三菱 UFJ 銀行	金融機関名	三菱 UFJ 銀行 (銀行コード: 0005)
	支店名	門前仲町支店 (店番: 338)
	口座番号	(普通) 0076636
	口座名 (漢字)	カトリック中央協議会 教皇への献金
	口座名 (カナ)	カトリックチュウオウキョウギカイ キョウコウヘノケンキン
ゆうちょ銀行	金融機関名	ゆうちょ銀行
	口座番号記号	00100-9-673962
	口座名 (漢字)	カトリック中央協議会教皇への献金
	口座名 (カナ)	カトリックチュウオウキョウギカイキョウコウヘノケンキン
	(他行からの振込の場合)	
	支店名	〇一九 (ゼロイチキュウ) 店 (店番: 019)
	口座番号	(当座) 0673962

カトリック新聞より